



「環境配慮融資」を初めて利用した資金調達の実施について

阪神高速道路株式会社は、環境配慮融資として平成 29 年度末に初めて株式会社三井住友銀行の「S M B C 環境配慮評価融資」等を利用した資金調達を実施しました。

環境配慮融資は、金融機関が融資する際の判断基準として、融資先企業の環境への取り組みが考慮されるものです。この度、当社の環境マネジメントに基づく取り組みが、株式会社三井住友銀行から「企業経営において優れた環境配慮を実施されている」と評価されました。

具体的には、特に以下の取組内容が高く評価されました。

1. エコアクション 21 に基づく環境マネジメントシステムのもと、全部署で PDCA サイクルをまわして環境配慮に取り組んでいる点
2. 道路照明における LED の導入、屋上緑化など環境負荷低減に貢献する料金所等の設計や道路建設工事における環境配慮等、多様な環境保全対策を推進している点
3. 高速道路の整備や管理において、大雨洪水等の対策強化による気候変動への備えを充実されている点

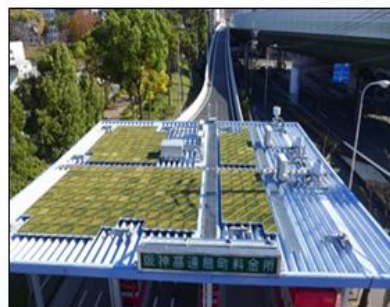
当社は、環境負荷低減に貢献するため、環境配慮型の設計や高速道路のネットワーク整備などに取り組み、建設・整備を進めています。

今回の融資は、その全額が高速道路の建設・整備資金に充当されます。

今後も、低炭素社会への実現に向け、高速道路事業を通じた環境負荷低減に資する取り組みを推進してまいります。



阪神高速道路株式会社
エコアクション21認証



料金所屋上緑化



防潮板の設置